

答弁 男衾駅東西自由通路及び駅舎整備事業約14億円、男衾駅東口通り線延長約60メートルと東口広場及び男衾駅西口通り線延長約60メートルと西口広場整備で約5億円、明神川改修工事約2億3000万円、その他町道改築工事で約5000万円です。

土木費
折原地区道路改良等

大平久幸 ①町道211号線（秋山地内ウツギ瀬）及び町道214号線（立原地内折原小学校東側の道路改良工事の内容、町道8657号線（立原地内）の舗装工事の内容）②河川改修工事では、県に要望している坂東沢川の護岸補修の予定 ③平倉の町営住宅について今後の対応と現入居数、この3点を伺います。

答弁 ①211号線は北側の擁壁工事を行い、214号線は側溝整備とボックスカルバート埋設をします。また、舗装工事は土地改良区内の未舗装部分を舗装します。②県に要望してありますが、再度申し入れていきたい。③町営住宅は長寿命化計画を検討中で、この中で建て替えを含め検討されます。現在、34棟中27棟に入居しています。

消防費
防火水槽設置

原口昇 防火水槽設置等の工事予算が計上され

ています。既存の防火水槽で設置年数が数十年と古いのですが、地権者が設置に当たり敷地を無償提供したのか、また防火水槽用地が固定資産税の対象になっているのか伺います。あわせて、地権者の要望があれば移設等を考えられるのか伺います。

答弁 設置については、地権者のご協力で無償提供いただいております。固定資産税は免除されています。地権者の希望があれば、移設・建て替えを検討します。

消防費
女性消防サポーター

岡本安明 女性消防サポーターの目的と、メンバーは何人で、どんな活動をしていますか。また、若者の減少や勤めで地元にはいない等がありますが、地元にいる元気な年配者でシルバー消防団を組織したらどうか伺います。

答弁 13名の女性サポーターが、火



署員の指導のもと、消火訓練も

を本当の意味でのエコタウンにしていく道筋ではないか」というものです。

議決は、減額の修正動議を賛成多数で可決した後、修正部分以外の一般会計予算を賛成多数で可決しました。



工業振興費を減額して同額を予備費へ

**議員発議で
予算の修正案を提出!**

修正の内容は、商工費のうち工業振興費を1250万6000円減額し、同額を予備費に増額するものです。これは、寄居町エコタウン推進活動事業補助金を削減することからです。

補助金は、NPO法人（仮称）寄居エコタウンクリエイションに対するものですが、昨年12月にNPO法人の設立総会が開催され、今年3月末の県認可を目指して申請中の団体への補助に修正動議がありました。

その趣旨は、「予算審議の中では、NPO法人の活動目的など示されたが、まずNPO法人に参加する会員が目的に沿った活動をしっかりと行い、その実績が町民に根付いたものになっていることを見きわめた上で、必要な予算措置を考えるべきである。それこそが、寄居町

予算案の修正動議…会議規則の通り、議員定数の8分の1以上の発議者が連署した「修正案」を議長に提出する必要があります。今回の修正案は「議員による修正動議」として出されました。なお、修正案を出すタイミングは、予算に対する質疑が行われたあと、討論の前です。

災害防に関する広報や防災講話、消防団や自主防災組織等との連携を図る活動を行っています。シルバーパーワーの活用は意義あるものと考えますが、体力面なども考慮しなければなりません。自主防災組織に参加いただき、地域における消防・防災活動を積極的に推進していただきたいと考えています。

教育費
要保護 準要保護 援助費補助金

田母神節子 経済的理由により就学困難な児童または生徒の保護者に対して町と国が援助する要保護及び準要保護援助費補助金が、小学校費では1082万7000円、中学校費では1169万4000円計上されています。対象者数と全児童・生徒に対する割合、また、今後の状況を伺います。

答弁 小学校では168人分、中学校で112人分を計上しています。受給者の割合は、1月1日現在で12・05%。近年は経済状況等の悪化により、受給者は増加傾向です。

討論 今こそ町は、国の悪政の防波堤の役割を果たすとき

反対 国は税と社会保障の一体改革を進めるための財源を消費税増税で充当すると言っているが、地方自治体に出されたものは年金の2・5%カット。医療費の2割3割負担や公的責任を回避し、自己責任を押しつけるなど、どの分野を見ても悪政ばかり。そんな中、3歳児の保育料無料化などの町独自の施策が求められている。

賛成 積極的な政策展開の大型予算編成を評価

討論 町長の政策骨子である「寄居に満足して住めるまちづくり」「親身になって応援・協力」「光り輝く、観光・ブランドタウンの充実」を重点施策としている。また、後期計画の5本の柱「魅力」「安心」「快適」「活力」「協働」について、それぞれ町の発展・町民サービス向上に、積極的な政策展開をする100億円を超える大型予算編成は評価できる。